

株主・投資家の皆様へ



第**48**期  
事業報告書

2005年4月 1 日から  
2006年3月31日まで



株式会社 CRCソリューションズ

証券コード：9660

## 「強い分野をさらに強く」—— 過去最高の業績を達成

株主・投資家の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。ここに当社グループの2006年3月期（2005年4月1日から2006年3月31日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

### 過去最高の業績

当社グループは、「強い分野をさらに強くする」ことを経営基本戦略として掲げ、強化分野の「流通」と「アウトソーシング」に注力して売上・利益の拡大を目指し、品質・生産性向上、コスト競争力強化により顧客満足度と利益率の向上を図っております。当期は、日本経済の回復が関係業界の景況にも反映し、当社グループにおきましても、主力の情報処理サービスが堅調に売上を伸ばすとともにソフトウェア開発での採算性改善、来期につながる大型案件への積極的取り組みなどにより、過去最高の「売上高、経常利益、当期純利益」を更新いたしました。皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、ご支援にお応えするため、期末配当を2円増配し年間30円の配当とさせていただきますこといたしました。

### さらなる飛躍への第一歩

当社グループと伊藤忠テクノサイエンス株式会社（以下「CTC」）は本年10月1日をもって合併し、「伊藤忠テクノソリューションズ株式会社」として新たにスタートすることとなります。CRCグループは、これまで「連結売上高1,000億円、経常利益100億円規模」という目標達成に向け邁進してまいりましたが、成長の牽引力であるデータセンター事業、SI事業ともにさらなる拡大を続けるためには「飛躍のためのギアチェンジ」

を行うタイミングにさしかかっています。増収増益を達成している現在、両社の強みを生かして、経営統合することがベストとの判断に至り、合併することで合意いたしました。データセンター事業をコアとして流通分野およびアウトソーシングに強いCRCグループと、ハードウェア販売やテレコム業界・金融業界に強いCTCグループ、それぞれ特徴のある事業内容が強化され、より一層の成長を加速させることが期待できます。新会社は、合併時点で、売上規模3,000億円、経常利益250億円、人員規模6,000人の会社となり業界第3位規模の会社となります。

今回の合併はさらなる飛躍のための第一歩と考えており、両グループの経営資源を結集し、以下の将来像を目指します。

- ユニークなビジネスモデル（運用・保守サービス/SI（構築・開発）/製品販売の各分野でバランスよく取り組んでいるビジネスモデル）で総合力を兼ね備えた会社
- 規模においてトップ集団に入る会社
- テクノロジー・リーディング・カンパニー

CRC株主の皆様には当社株式1に対して新会社株式0.31が交付されます。新会社が大きく発展していくためにも、今まで以上の株主・投資家の皆様の力強いご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2006年6月



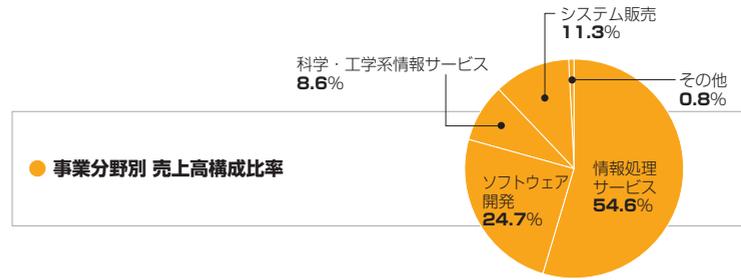
代表取締役  
社長執行役員

杉山尋美

### ● 連結決算ハイライト



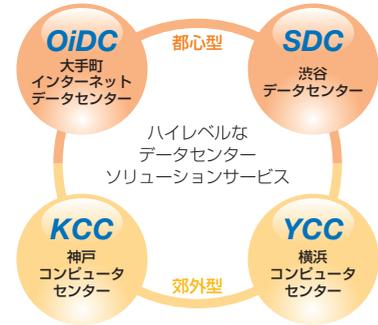
## 事業分野別の状況



### ● 情報処理サービス

横浜・神戸・東京大手町・東京渋谷の4拠点のデータセンターにおいて、流通・リーテイルを中心とする顧客の基幹系システムからe-ビジネスまでの幅広い範囲の運用など、アウトソーシング業務を受託しております。

当期は大手町インターネットデータセンターに加え、都心型第2センターとして新設した渋谷データセンターでの顧客獲得が進み、売上が順調に増加いたしました。また、横浜



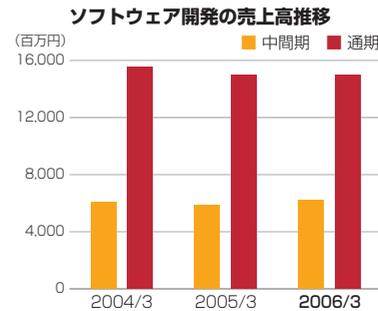
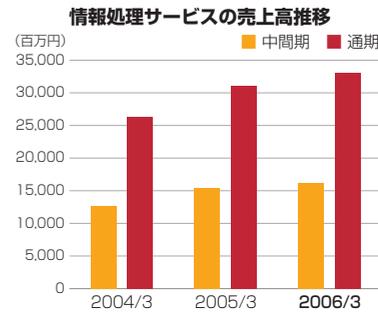
と神戸のデータセンターも、顧客からの受注増等により堅調な推移となりました。さらに連結子会社のCRCシステムズにおける運用業務の拡大も寄与し、情報処理サービスの売上高は33,085百万円(前期比6.4%増)となり、売上高の54%を占める事業分野となりました。

なお、現在さらに都心型第3センターの開設検討に入るとともに、既存データセンターの安定運用強化に向けての設備投資を積極化し、事業のさらなる強化拡充を図ってまいります。

### ● ソフトウェア開発

流通・リーテイル・メーカーの各分野のシステム構築や、Web技術によるe-ビジネスのアプリケーション開発を注力分野として事業を展開しております。

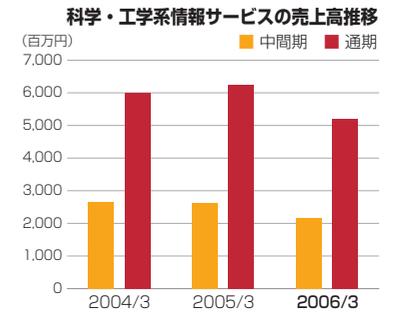
当期のソフトウェア開発の売上高は14,971百万円(前期比0.1%増)とほぼ横ばいとなりましたが、商社、卸、メーカー等の大規模システムに加え、流通業向け次世代店舗システムの開発等、来期につながる案件の受注が拡大いたしました。また、プロジェクトマネジメントの強化と実践的なプロジェクトリーダー(PL)養成研修などにより、人材育成に注力いたしました。



### ● 科学・工学系情報サービス

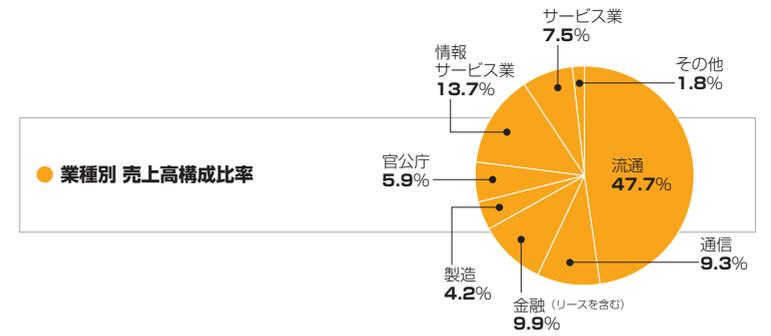
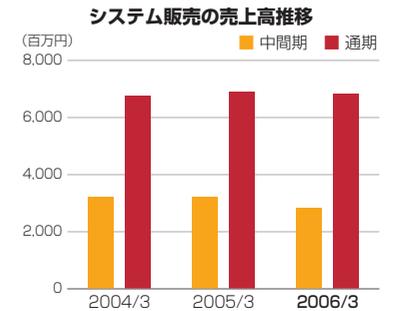
当事業分野は、科学・工学系のソフトウェア開発・解析・販売を行なっております。当期は、株式会社ACRONETの株式を平成18年3月に一部売却し、連結子会社から持分法適用会社へ変更したことにより、売上高は前期比1,235百万円減少いたしました。

一方、エネルギー開発の追い風を受けて、石油資源開発向けシステム構築、原子力安全解析・評価、風力発電関連業務が好調に推移し、また、注力分野の製造業向けCAEソリューションサービスも順調に推移しました。この結果、科学・工学系情報サービスの売上高は5,194百万円(前期比16.7%減)となりましたが、株式会社ACRONETの要因を除くと実質的には前期比3.8%増となりました。



### ● システム販売

当事業分野は、システムインテグレータとしての機器販売やネットソリューション関連業務に関わるシステム販売を行なっております。システム販売の売上高は6,831百万円(前期比0.9%減)となりました。



## 連結財務諸表

### ● 連結貸借対照表のポイント (前期との比較)

データセンター関連の設備投資により有形固定資産が増加し、固定資産は13,164百万円となりました。

投資有価証券の時価評価益が増加したことなどにより、投資その他の資産が7,449百万円となりました。

負債合計は、受注損失引当金の減少、長期借入金の返済などにより減少し、13,301百万円となりました。

利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加などにより、株主資本比率は58.9%へ上昇しました。

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当 期 2006年3月31日現在	前 期 2005年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	20,755	19,357
固定資産	13,164	11,933
有形固定資産	4,713	4,249
無形固定資産	1,001	1,190
投資その他の資産	7,449	6,493
<b>資産合計</b>	<b>33,919</b>	<b>31,291</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	11,285	11,376
固定負債	2,015	2,025
<b>負債合計</b>	<b>13,301</b>	<b>13,401</b>
<b>(少数株主持分)</b>		
<b>少数株主持分</b>	<b>625</b>	<b>610</b>
<b>(資本の部)</b>		
資本金	1,949	1,922
資本剰余金	2,735	2,708
利益剰余金	13,768	11,718
その他有価証券評価差額金	1,546	950
為替換算調整勘定	4	△ 20
自己株式	△ 12	△ 0
<b>資本合計</b>	<b>19,992</b>	<b>17,278</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>33,919</b>	<b>31,291</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当 期 2005年4月1日から 2006年3月31日まで	前 期 2004年4月1日から 2005年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,401	3,910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 445	△ 370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 893	△ 826
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	4
現金及び現金同等物の増加額	1,086	2,717
現金及び現金同等物の期首残高	5,520	2,803
現金及び現金同等物の期末残高	6,607	5,520

### ● 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

堅調な業績を背景に、当期の資金残高は6,607百万円となり、前期と比べて1,086百万円増加しました。

### ● 連結損益計算書のポイント

売上高、経常利益、当期純利益ともに過去最高を更新しました。データセンター事業の拡大が成長を牽引するとともに、ソフトウェア開発の利益率が着実に回復してきています。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当 期 2005年4月1日から 2006年3月31日まで	前 期 2004年4月1日から 2005年3月31日まで
売上高	60,587	59,459
売上原価	50,203	49,701
売上総利益	10,383	9,757
販売費及び一般管理費	6,145	6,014
営業利益	4,238	3,743
営業外収益	264	192
営業外費用	16	25
経常利益	4,486	3,910
特別利益	405	543
特別損失	442	477
税金等調整前当期純利益	4,449	3,976
法人税、住民税及び事業税	2,105	1,743
法人税等調整額	△ 284	△ 84
少数株主利益	19	39
<b>当期純利益</b>	<b>2,609</b>	<b>2,278</b>

### 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	当 期 2005年4月1日から 2006年3月31日まで	前 期 2004年4月1日から 2005年3月31日まで
<b>(資本剰余金の部)</b>		
資本剰余金期首残高	2,708	2,694
資本剰余金増加高	27	13
資本剰余金期末残高	2,735	2,708
<b>(利益剰余金の部)</b>		
利益剰余金期首残高	11,718	9,897
利益剰余金増加高	2,609	2,278
利益剰余金減少高	559	457
利益剰余金期末残高	13,768	11,718

## 個別財務諸表

貸借対照表		
	(単位：百万円)	
科目	当期 2006年3月31日現在	前期 2005年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	15,477	14,768
固定資産	13,073	11,820
有形固定資産	4,362	3,878
無形固定資産	719	925
投資その他の資産	7,992	7,016
<b>資産合計</b>	<b>28,551</b>	<b>26,589</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	11,651	11,460
固定負債	1,248	1,370
<b>負債合計</b>	<b>12,899</b>	<b>12,830</b>
<b>(資本の部)</b>		
資本金	1,949	1,922
資本剰余金	2,735	2,708
利益剰余金	9,432	8,177
その他有価証券評価差額金	1,546	950
自己株式	△ 12	△ 0
<b>資本合計</b>	<b>15,651</b>	<b>13,758</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>28,551</b>	<b>26,589</b>

損益計算書		
	(単位：百万円)	
科目	当期 2005年4月1日から 2006年3月31日まで	前期 2004年4月1日から 2005年3月31日まで
売上高	43,232	40,829
売上原価	37,012	35,126
売上総利益	6,220	5,703
販売費及び一般管理費	3,739	3,824
営業利益	2,480	1,879
営業外収益	451	470
営業外費用	17	25
経常利益	2,914	2,323
特別利益	339	662
特別損失	371	351
税引前当期純利益	2,882	2,635
法人税、住民税及び事業税	1,314	1,014
法人税等調整額	△ 221	△ 81
当期純利益	1,788	1,702
前期繰越利益	507	445
中間配当額	140	87
当期末処分利益	2,155	2,059

利益処分		
	(単位：百万円)	
科目	当期	前期
当期末処分利益	2,155	2,059
任意積立金取崩額	43	41
<b>合計</b>	<b>2,199</b>	<b>2,101</b>
利益処分量	1,585	1,593
配当金	386	350
	(1株につき22円)	(1株につき20円)
役員賞与金	48	42
(うち監査役賞与金)	(2)	(2)
任意積立金	1,150	1,200
<b>次期繰越利益</b>	<b>614</b>	<b>507</b>

(注) 2005年11月29日に1株につき8円の中間配当を実施しております。

## データセンター ビジネスの拡大

主力である情報処理サービスにおきましては、「アウトソーシングに強いCRC」を目指し、提案力、技術力、営業力の強化とデータセンターの安定運営維持強化に向けての設備投資を積極化いたしました。都心型第2センターとして2005年4月に新設した渋谷データセンターは、顧客獲得が着実に進み、現在さらに都心型第3センターの開設検討に入っております。また、横浜及び神戸のデータセンターでも、顧客からの受注も増加するなど順調に売上高が増加し、当社グループの成長を牽引しております。

●国内のデータセンターを表すシステム等管理運営受託業の売上高は、2005年4月～2006年2月においてほぼ前年を上回っており、平均7%と高い伸びを示しています。今後もこれらは堅調に推移するものと考えられます。



## NEWS & TOPICS

### DREAMERシリーズの 本格展開

CRC版次世代ERP基盤コンポーネント「DREAMER」を活用した基幹システムの開発案件も複数受注でき、今後は顧客のERPシステムに関するコンサルテーションから開発ソリューション、ホスティング運用までの一貫したサービス提供のできる体制を整え展開を図っていく方針です。また関連リソースを結集し「ERPシステム事業部」を新設いたしました。



### 企業価値向上と 株主重視の経営推進の強化

当社グループの決算におきまして過去最高の「売上高、経常利益、当期純利益」を更新できましたのも皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、ご支援にお応えするため、期末配当を2円増配し年間30円の配当とさせていただきます。なお投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるため、当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を目的に、2006年4月1日をもって当社普通株式1株を2株に分割いたしました。

## 会社概要 (2006年3月31日現在)

商号	株式会社CRCソリューションズ
本社	東京都江東区南砂二丁目7番5号
設立年月日	1958年11月13日
事業内容	情報処理サービス
	ソフトウェア開発
	科学・工学系情報サービス
	システム販売
	その他
資本金	1,949百万円
従業員数	1,040名
	2,269名 (CRCグループ)

## 役員一覧 (2006年6月20日現在)

取締役		執行役員	
*代表取締役	杉山 尋美	社長執行役員	杉山 尋美
*代表取締役	小菅 和夫	専務執行役員	小菅 和夫
*取締役	夏目 浩昭	専務執行役員	夏目 浩昭
*取締役	石井 建治	常務執行役員	石井 建治
*取締役	竹中 公一	常務執行役員	竹中 公一
*取締役	大西 恭二	常務執行役員	大西 恭二
*取締役	富田 博	常務執行役員	富田 博
取締役	長谷部 英則	常務執行役員	鎌田 稔
取締役	野田 俊介	執行役員	大原 章生
		執行役員	西村 隆治
		執行役員	菅浦田 徹
		執行役員	柴田 寛
		執行役員	岡松 宏明
		執行役員	奥木 洋一
		執行役員	原口 栄治

- (注) 1. \*印は執行役員を兼務しています。  
 2. 取締役長谷部英則および野田俊介の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
 3. 常勤監査役末田 昭、監査役秋光 実および佐藤茂隆の三氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 重要な連結子会社の状況

会社名	資本金	議決権比率	主な事業内容
株式会社CRCシステムズ	200	100%	コンピュータ運用・保守業務、衛星通信管制業務、システムの開発及び販売
株式会社CRCテクノパートナーズ	100	100%	システム製品及びソリューション販売
株式会社ITファシリティ・マネジメント*	30	100%	アウトソーシングサービス、高性能ビル管理、宮繕・総務、各種出版物の制作・販売サービス
平成情報サービス株式会社	50	100%	コンピュータシステムによる情報処理
ファーストコンタクト株式会社	50	100%	ヘルプデスクサービス、IT研修の企画立案・実施
インフォ・アベニュー株式会社	490	80.0%	業務改革コンサルティング及びITソリューションサービス
アサヒビジネスソリューションズ株式会社	110	51.0%	システムの開発、保守、運用業務、ITコンサルティングサービス
精藤股份有限公司(台湾)	78.81百万NT\$	50.0%	台湾におけるコンビニエンスストアのコンピュータシステム運用、保守、ソフトウェア開発

\*株式会社ITファシリティ・マネジメントは、2006年4月1日付で、社名を株式会社CRCファシリティーズに変更いたしております。

## 事業所一覧

本社
〒136-8581 東京都江東区南砂2-7-5 TEL.案内 (03) 5634-5600
青山オフィス
〒107-0061 東京都港区北青山2-5-1 伊藤忠ビル TEL. (03) 3497-4723 (代) FAX. (03) 3497-4949
関西支社
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 伊藤忠ビル TEL. (06) 6241-4110 (代) FAX. (06) 6241-5315
大手町インターネットデータセンター
東京都千代田区 TEL. (03) 3270-3791 (代) FAX. (03) 3270-3825
渋谷データセンター
東京都渋谷区 TEL. (03) 5489-3131 (代) FAX. (03) 5489-3130
横浜コンピュータセンター
横浜市都筑区 TEL. (045) 942-0471 (代) FAX. (045) 945-1700
神戸コンピュータセンター
神戸市北区 TEL. (078) 953-0004 (代) FAX. (078) 953-0441
東北事業所
〒980-6121 仙台市青葉区中央1-3-1 AERビル TEL. (022) 267-4606 (代) FAX. (022) 266-0781
名古屋事業所
〒460-0003 名古屋市中区錦1-5-11 名古屋伊藤忠ビル TEL. (052) 203-2841 (代) FAX. (052) 211-4149

## 株式情報 (2006年3月31日現在)

### 株式の状況

会社が発行する株式の総数	48,400,000株
発行済株式の総数	17,583,100株
株主数	3,901名

### 大株主

株主名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
伊藤忠商事株式会社	6,032,000	34.3
伊藤忠テクノサイエンス株式会社	2,130,200	12.1
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託	678,300	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	617,000	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	601,400	3.4
みずほ情報総研株式会社	544,500	3.1
富士通株式会社	460,000	2.6
ステートストリートバンク アンド トラストカンパニー 505019	276,600	1.6
CRC従業員持株会	265,301	1.5
ピーエヌピー パリバ セキュリティーズサービス ルクセンブルグ ジャス デックセキュリティーズ	238,000	1.4

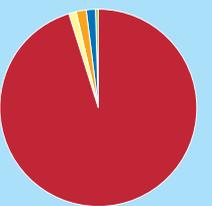
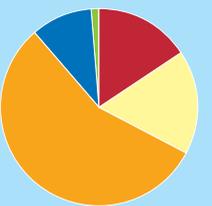
### 所有者別株式分布状況

#### 株式数 (17,583,100株)

■ 個人・その他	2,753,674株	15.66%
■ 金融機関	2,991,000株	17.01%
■ その他国内法人	9,845,600株	56.00%
■ 外国法人・個人	1,769,300株	10.06%
■ 証券会社	216,871株	1.23%
■ 自己名義株式	6,655株	0.04%

#### 株主数 (3,901名)

■ 個人・その他	3,712名	95.15%
■ 金融機関	48名	1.24%
■ その他国内法人	64名	1.64%
■ 外国法人・個人	59名	1.51%
■ 証券会社	17名	0.44%
■ 自己名義株式	1名	0.02%



## ● 株主メモ

決算期	3月31日
配当金受領株主確定	3月31日および中間配当の支払いを行うときは9月30日
定時株主総会	6月中
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問合せ先*)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎0120-288-324 (フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
単元株式数	100株
単元未満株式の 買取請求取扱場所	上記株主名簿管理人がお取り扱いいたします。
公告掲載方法	電子公告
貸借対照表および 損益計算書掲載の ホームページアドレス	<a href="http://www.crc.co.jp/koho/ir-koukoku.html">http://www.crc.co.jp/koho/ir-koukoku.html</a>

\* 住所変更、配当金振込指定、単元未満株式買取請求等、株式事務に関するお問合せは、こちらまでご連絡ください。



URL <http://www.crc.co.jp/>

株式会社 CRCソリューションズ

〒136-8581 東京都江東区南砂2-7-5

TEL.03-5634-5684(広報室)

e-mail: [press@crc.co.jp](mailto:press@crc.co.jp)